

平成二十五年

謹賀新年



茨城町議会議長
小貫 和通

平成二十五年議長新年挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、一昨年に起こりました、東日本大震災に伴う被害と原子力事故による影響はいまだに続いている状況にあります。

当町においても、大きな被害を受けた桜丘中学校や消防庁舎の新築工事など様々な復興事業が急ピッチで進められていくところです。

さらに、中央公民館も使用できない状況となり、現在、町において文化的施設の建設に向けた計画が進められております。町議会といたしましても、町と一致協力してできる限り早く、文化・芸術活動の場の確保に努めてまいり所存であります。

このような中、町農産物などを利用した加工品づくりに取り組み、現在7品目ほどが商品となり、町内外で販売されております。

今後さらに商品が増えることにより、町の活性化にもつながるものと期待するところであります。

一方では、地方自治体における施策や事業等の自己決定権、自己責任の拡大に伴い、議会の意思決定及びチェック機関としての責任や役割



茨城町長
小林 宣夫

平成二十五年町長新年挨拶

新年明けましておめでとうございました。町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望も新たに輝かしい平成25年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年一年、皆様の温かいご支援とご協力のもと、町政全般にわたりまして諸事業を順調に推進できましたことに、心からお礼申し上げます。

新春を迎え、町民の皆様から寄せられました期待と信頼にお応えするため、改めて誠心誠意取り組み決意を新たにしたいところでございます。

さて、昨年は東日本大震災からの「復興元年」という位置づけのもと、地元業界や水戸市にあるFM放送局など、様々な業種の民間企業・団体や、他町村との災害協定の締結。震災で被災した公共施設の復旧・改築工事などを実行し、災害に強いまちづくりを進めてまいりました。

また、「茨城町に住んで良かった」といえるよう茨城町の資源を生かした魅力あるまちづくりを実現するため、「人づくり教育の推進」「農業の振興と産業の活性化」「保健福祉政策の充実」「環境対策、生活インフラ整備」「行政改革の推進による信頼されるまちづくり」の5つを基本施策として、町政運営に取り組みでまいりました。

お陰様で、かねてより進めてまいりました小中学校の再編計画では、適正規模・適正配置検討委員会において、新中学校の名称が「青葉中学校」と決まり、9月にスタートした新校舎の建築も順調に進んでおります。

また、ひぬまあじさいまつり、瀧沼環境フェスティバル・しじみフェスタの合同開催、そして2012いばらきまつりなどのイベントには、沢山の方にご参加いただきまして大いに賑わい、町の活性化に繋がったところでありました。これも町民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

一方、地方を取り巻く状況は、少子高齢化などによる社会保障費の増加、震災や不況に伴う税収の落ち込みなど、たいへん厳しい状況に置かれております。

しかし、茨城町においては、こういう時にこそ、町民の英知を結集し、独自の資源や潜在能力を生かした個性的で持続力のあるまちづくりにまい進していきたいと考える所でありました。

どうぞ本年も皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が町民の皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

が、これまで以上に大きくなってきております。

今後も、私たち議会議員は、町民の皆様への思いを率直かつ謙虚に受け止め、議会の果たすべき役割と責任を持つとともに、国政の動向を注視しながら、従来のチェック機関のみでなく、自治体の決定者、監視者としての機能を高めてまいります。

さらに町民からの厚い信頼と期待に応える施策の提言を行うなど茨城町の発展のため、議会一丸となって、安全・安心で活力あるまちづくりに全力を傾注する所存であります。

結びに、今後とも町議会に対しまして一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、議会を代表しての新年の挨拶といたします。

